

調査票: 日本版スチュワードシップ・コードに伴うスチュワードシップ活動(アセットオーナー)

この調査では御機関のスチュワードシップ活動に関する方針および活動等についてお伺いします。この調査は日本版スチュワードシップ・コードの署名機関の活動の実態について知見を広めるためのもので、是非御機関の報告媒体に関わらず情報をお寄せいただけたら幸甚に存じます。これらの情報は定期的に見直されるものと想定していますので、過去12か月の活動内容について御回答下さい。ただしいただきました御回答及び付属情報は、既に公表されているものを除いては組織名を使う、または御機関の情報であると特定できる形では公表いたしません。調査の御回答、コメント、書類等はこちらのアドレス(survey@sustainablefinancialmarkets.net)にeメールでお送りください。

御回答者様情報

御名前:

役職名:

eメールアドレス:

電話番号:

全般

1. 昨会計年度末の株式投資に関わる資産運用額(米ドル)をお教え下さい。

運用方針

2. 御機関ではベンチマークに対する超過収益の代わりに、今後の給付に備え ALM (asset liability management) またはLDI (liability-driven investment) を採用されて運用リターン及び運用期間を管理していらっしゃいますか。もしそうでしたらどのように実施されているか詳細をお知らせください。もしそうでなければ、理由をお聞かせください。
3. 御機関では議決権行使ガイドラインをお持ちでしょうか。または議決権行使は運用機関の判断に任せていらっしゃいますか。議決権行使アドバイザリー会社の分析を受けて御機関の独自の議決権行使ガイドラインに沿って議決権行使を行っていただければ、そのプロセスをお聞かせください。

研修

4. 御機関では受益者の利益のために主要メンバー[does this mean "your staff, employees2?"] に対して以下の内容について研修を実施していらっしゃいますか。
- a) 企業の経済的利益(投下資本利益率(ROIC: Return On Invested Capital)の加重平均資本コスト(WACC: Weighted Average Cost of Capital)に対する超過分)に着目した投資判断
 - b) 投資先企業におけるブラックスワン型(発生確率は低いものの、その被害が甚大な)事件・事故による損失の回避
 - c) 現代コーポレートガバナンス及びコンプライアンス活動、会社法の関連事項
- もしそうでしたらどのように実施されているか詳細をお知らせください。もしそうでなければ、理由をお聞かせください。

エンゲージメント

5. 御機関では結果志向のエンゲージメント活動を行なっているでしょうか。もしそうでしたらどのように実施されているか詳細をお知らせください。もしそうでなければ、理由をお聞かせください。
6. 御機関では投資先企業の取締役が責務を果たすために必要な研修機会の提供についてエンゲージメントに通じて確認していますか。もしそうでしたらどのようにしてその研修機会の十分さを確認しているか詳細をお知らせください。もしそうでなければ、理由をお聞かせください。
7. どのような基準とプロセスを用いて社内外役員候補の知識と資質を計って、承認するに十分な程度であると判断していますか。また特定な場合には「不十分」と判断する方針があれば、お聞かせください。もしそのような判断をしてなければ、理由をお聞かせください。

受益者との対話

8. 御機関では資産運用活動について受益者との対話の機会を設けているでしょうか。もしそうでしたらどのように実施されているか詳細をお知らせください。もしそうでなければ、理由をお聞かせください。

手数料・費用

9. 御機関では運用機関がよりスチュワードシップ活動に注力するような手数料体系を適用しているでしょうか、もしくは適用を考慮したことはございますか。もしそうでしたらどのように実施されているか詳細をお知らせください。もしそうでなければ、理由をお聞かせください。
10. 以上のスチュワードシップ活動について概算で年間予算の約何パーセントを直接的・間接的費用として充当することになるとお考えですか。
11. 日本版コーポレートガバナンス・コードが本年より施行されますが、その施行に伴い年間予算の何パーセントが追加費用として発生すると推定されていますか。

その他特記事項がございましたら、こちらにお願いいたします。

Network for Sustainable Financial Markets (SFM、持続可能な金融市場ネットワーク) 日本ワーキンググループ

SFM は長期投資に強い関心を持つ金融業界のプロフェッショナル、学識経験者、その他専門家で構成された国際的なグループです。SFM は世界中が経験した金融危機を偶然の孤立した出来事であるとは考えておらず、再発性のある事象だと考えています。SFM は、今回の金融危機が市場のみならず社会を不安定化させたという事実を重く受け止め、長期で安定した金融市場を構築するための抜本的な改革の必要性を強く認識しています。そして、その改革こそが長期的で持続可能な企業価値をもたらすと考えています。

SFM 日本ワーキンググループは、日本における持続可能な金融市場の構築を目指し、投資活動に外部性の内部化、並びに効率的な資本配分を実現し発展させるための議論や情報交換の場を提供し、積極的な提案活動を行なっています。

survey@sustainablefinancialmarkets.net

<http://www.sustainablefinancialmarkets.net/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E7%89%88/>

THE NETWORK FOR
SUSTAINABLE FINANCIAL MARKETS

NEED TO ADD AN EXPLANATION/INTRODUCTION OF THE SFM GROUP, A WEB SITE, AND A CONTACT PERSON NAME AND EMAIL ADDRESS,,,MAYBE A LOGO TOO